



奈良県感染症情報

令和3年 第42週(10月18日～10月24日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.62	(2.24)	➔	➔	↗	➔
2	手足口病	2.29	(0.74)	↗↗	↗↗	↗↗	↓
3	突発性発しん	0.41	(0.18)	↗	↑	➔	↓
3	ヘルパンギーナ	0.41	(0.41)	↗	↑	↓	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.21	(0.06)	➔	↑	↓	↗↗

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↗↗**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**➔**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第42週の新型コロナウイルス新規感染者数は30名と、前週より減少しています。第42週に実施したL452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)では16件のうち11件がL452R陽性となりました。県民のみなさまには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

1、2回の嘔吐を伴う感染性胃腸炎が増えている。水痘が散見される。
 1～2日の発熱、その後に咳の患児が増えてきているが、軽症です。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

気候の不順につれて学童を中心に感冒症状例が増加。
 短期の発熱、咳など軽症経過。感染性腸炎も流行あり、水様下痢などで嘔吐は少ない。
 5歳児で水痘が1例あった。幼稚園で1例あり接触とのこと。その他の届け出疾患はなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

軽症で遷延する呼吸器感染症が増加している。各種迅速検査や血液検査でも反応なく、対症療法で改善。軽症の下痢も散見されている。
 夏カゼはほぼみられなくなった。

❖ L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況 ❖

全国的にデルタ株に置き換わり、国内で監視強化の対象とする新たな変異株が確認されていないこと、様々な変異株の発生動向を広く監視するためゲノム体制を強化することから、L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)及び公表を今週をもって終了します。なお、ゲノム解析については、引き続き実施し、国立感染症研究所に報告します。(ゲノム解析結果の公表については、当面の間、国が一括して実施)

検査実施週		L452R変異株 PCR検査数	L452R変異株 陽性者数	国立感染症研究所・県保健研究センター ゲノム解析結果 (判明数のみ)		
				デルタ株	デルタ株以外の変異株	解析不能
6月7日	～ 10月10日	3 (N501Y変異株PCR検査)	-	3 ※	-	-
		2671	1956	260	0	0
10月11日	～ 10月17日	19	19	3	0	0
10月18日	～ 10月24日	16	11	0	0	0
計		2706	1986	266	0	0

デルタ株: インドで最初に検出された変異株

※N501Y 変異株 PCR 検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 42 週 10 月 18 日 ~ 24 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	6 (0.18)		1 (0.11)	4 (0.57)	1 (0.17)			
A群溶連菌咽頭炎	7 (0.21)		4 (0.44)		1 (0.17)	2 (2.00)		
感染性胃腸炎	89 (2.62)	19 (2.11)	5 (0.56)	20 (2.86)	40 (6.67)	2 (2.00)	3 (1.50)	
水痘	3 (0.09)	2 (0.22)			1 (0.17)			
手足口病	78 (2.29)	23 (2.56)	12 (1.33)	4 (0.57)	39 (6.50)			
伝染性紅斑	1 (0.03)		1 (0.11)					
突発性発しん	14 (0.41)	5 (0.56)	4 (0.44)	2 (0.29)	3 (0.50)			
ヘルパンギーナ	14 (0.41)	4 (0.44)	6 (0.67)	1 (0.14)	3 (0.50)			
流行性耳下腺炎	1 (0.03)		1 (0.11)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	5 (0.50)	3 (1.00)		2 (1.00)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核1件(郡山1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症2件(奈良市1、中和1)
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(中和1) 梅毒1件(郡山1) 破傷風1件(吉野1)

❖ 第42週のトピックス ❖

◆COVID-19 Pick up Report/Research 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連論文紹介ページ(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/10149-covid19-pickup.html>

◆新型コロナウイルス感染症の直近の感染状況等(2021年10月20日現在)(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/10729-covid19-ab56th.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女																						1	
RSウイルス感染症	男女																						47	1605
咽頭結膜熱	男女			2	2																		2	260
A群溶連菌咽頭炎	男女			1	1						1		1		1								3	181
感染性胃腸炎	男女		4	8	11	6	2	1	3	1	1	2	1	1	6								42	2090
水痘	男女			1				1							5								2	50
手足口病	男女	1	1	21	13	4	1																41	147
伝染性紅斑	男女										1												37	103
突発性発しん	男女		4	6		1																	11	5
ヘルパンギーナ	男女				2	1																	3	285
流行性耳下腺炎	男女		2	4	2																		8	243
急性出血性結膜炎	男女																						1	67
流行性角結膜炎	男女														3	1							1	26
細菌性髄膜炎	男女																							13
無菌性髄膜炎	男女																							1
マイコプラズマ肺炎	男女																							4
クラミジア肺炎	男女																							1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																							56

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

